

# 【第1学年】児童の課題及び授業改善策

＜令和2年度＞

|      | 児童の実態   | 授業改善策   |
|------|---|---|
| 国語   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆相手の話を最後まで聞き、質問するなどやりとりする力に個人差が大きい。</li> <li>◆音読では、正しい口型でしっかりと声を出して読むことに課題がある児童がいる。</li> <li>◆言葉を正しく表記することに苦手意識をもつ児童が多く、個別支援が必要である。</li> <li>◆自分の経験や考えを説明したり表現したりするための言葉を増やしていく必要がある。</li> <li>◆鉛筆を正しく持ち、適度な力で文字を書くことが難しい児童がいる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○聞き方を意識した対話の時間を繰り返し設定し、意識付けをする。</li> <li>○国語や朝音読の時間を生かし、音読の指導を継続して行っていく。</li> <li>○ノートやプリントに文を書く活動を多く設定するなど繰り返し指導を行うことで言葉を正しく表記する力を定着させる。</li> <li>○しりとり等の言葉遊び、読み聞かせや読書を多く取り入れ、語彙を増やしていく。</li> <li>○書写の時間に、個別に鉛筆の持ち方を確認し指導する回数を増やす。</li> </ul> |
| 算数   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆数をイメージする力が弱く、数をまとまりとして認識する力に個人差が見られる。</li> <li>◆文章題の意味を正しく捉え、立式することが難しい児童への支援が必要である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○算数ブロックを主に、数え棒やおはじき、実物など、具体的に操作する活動を入れたり、計算ドリル・カード・プリントなどを<br/>用いて繰り返し問題を解かせたりし、習熟を図る。</li> <li>○問題文の言葉や文章を手がかりに図を描き、立式し、自分の言葉で説明する機会を増やす。</li> </ul>  |
| 生活   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆動物や植物に触れる機会が少ないため、生き物と触れ合い、草花に興味をもって世話をする経験をさせる必要がある。</li> <li>◆家庭の中で自分の役割に進んで取り組むことに課題があり、家庭と連携を図りながら支援していく必要がある。</li> <li>◆活動のまとめや振り返りにおいて、学習の気付きを言葉や絵で表現することに苦手意識のある児童がいる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○校庭の草木などの学校にある自然環境を生かす。また、個人でアサガオをそれぞれ育てるなど、生き物や植物に慣れ親しむ活動を多く取り入れる。</li> <li>○学習の中で自分が家族の一員としてどのようなことが出来るか考える場を設定し、家庭にも協力してもらう。</li> <li>○学習活動の充実を図ると共に、振り返りにおいては、観点をはっきりさせていくようにする。</li> </ul>  |
| 音楽   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆みんなで歌ったり演奏したりすることに抵抗を感じる児童がいる。また、リズムの違いを感じ取ることや拍の流れを感じ取ってリズムを演奏することが苦手な児童がいる。</li> <li>◆鍵盤ハーモニカの運指に関する指導をより進める必要がある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○歌うことや演奏することを楽しむ中で、音をよく聴くように指導するとともに階名による模唱やリズム打ちに親しみながら音程感やリズム感を付けていく。</li> <li>○運指に関して、個別に指導する時間を設ける。</li> </ul>   |
| 図画工作 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆のりやはさみなどの用具の使い方に慣れていない児童への手だてが必要である。</li> <li>◆自由に描く、作るというテーマに対して、課題を決めることが難しい児童への支援が必要である。</li> <li>◆色を塗ることにに対して、クレパスでの色の塗</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○用具の扱い方に関する基本的なルールを明確に提示し、技能を身に付けさせる。</li> <li>○友達作品を見る学習を取り入れ、鑑賞を楽しく行う。</li> <li>○制作過程を楽しめる活動を多く取り入れる。また、教師が手本を見せることで安心して取り組めるように手順を示す。</li> </ul>  |
| 体育   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆体を動かすことが好きな児童が多い一方、運動経験が乏しい児童もいるため、体力の向上を図る必要がある。</li> <li>◆ルールを守ったり、友達と協力して活動に取り組むことが難しい児童がおり、個別に声をかけていく必要がある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○遊具遊びなどを通して基本的な体の動きを身に付けさせるとともに、あらゆる領域で力いっぱい活動する場を設定し、体力の向上を図っていく。</li> <li>○感染予防に留意しながら、ボールゲーム及び鬼遊びを取り入れ、ルールを守ってグループのメンバーが協力することで楽しく活動できる経験をさせる。</li> </ul>   |